

備えあれば憂いなし

もうすぐ梅雨入りです



●問い合わせ先 総務課 (☎ 82-1122)

梅雨入り間近となりました。

梅雨の間は、集中豪雨や長雨による地盤のゆるみなどで、予測できない災害が発生することがあります。いざというときに備えて、早めの準備をしておきましょう。
(次ページの避難予定場所をご確認ください。)

● 梅雨入り前に確認しましょう

- ・非常時に備え、**保存食、貴重品、懐中電灯、携帯ラジオ、応急医薬品など非常持出品**の準備をしておきましょう。
- ・特に高齢者や身体の不自由な人には**地域で声をかけ**早めに避難させましょう。
- ・ラジオ (FM なら 80.4MHz)・テレビや、市ホームページなどの気象情報に十分注意しましょう。
- ・万一のために、避難予定場所への経路を確認しておきましょう。
- ・河川のはん濫、山崩れは瞬時に起こりますので、早めに避難しましょう。
- ・家の周りの水路を掃除し、水の流れをよくしておきましょう。
- ・灯油やガソリン、農薬などの危険物の安全管理を確認しましょう。
- ・雨に弱い地盤では、災害が繰り返し起こる傾向があります。地域での過去の災害例を確認しておきましょう。
- ・大雨が降り出したら、外出先からは早めに帰宅し、非常時に備えましょう。

● 災害時に確保したい4つのライフライン



電気が止まると?

- ・テレビは映りません。ラジオと電池を用意しておき、情報を得ましょう。
- ・照明がつきません。懐中電灯やろうそくなどを準備しておきましょう。
- ・冷蔵庫の電気が切れます。缶詰やレトルト食品などの保存食を確保しておきましょう。
- ・エレベーターが動きません。避難する時は階段を使いましょう。



水道が止まると?

- ・水は1人につき1日3リットル必要です。ペットボトル等を利用し、3日分は確保しておきましょう。
- ・普段からお風呂の水は張ったままにしましょう。災害時に飲料以外で水が必要な時に利用できます。
- ・井戸水などは、衛生に注意しましょう。



ガスが止まると?

- ・カセットコンロとガスボンベがあれば、お湯を沸かすことができ、温かい食事がとれます。
※ガスボンベの容量は1本あたり約2時間です。



電話が通じにくくなると?

- ・公衆電話は、災害時には優先的につながりやすくなります。近くにある公衆電話の位置を確認しておきましょう。
- ・離れたところに住む親戚や知人に、連絡を仲介してもらいましょう。

NTTの災害用伝言ダイヤル171

～安否確認や集合場所の連絡に便利です～

●伝言を録音するとき

171 → **1** → 自宅の電話番号 (市外局番から)

●伝言を再生するとき

171 → **2** → 自宅の電話番号 (市外局番から)

※音声案内が流れます。落ち着いて説明を聞きましょう。